



15 Jun '78 No. 219

Eds: Koumukai
2-12-2, Asahimachi, Abeno, OSAKA, Jap.

イオム通信

季 村 向

大阪市阿倍野区旭町2-12-2

（）イオム空送を手伝つてもらつてして「このどううんとへつたね」といわれて数えてみる。前号で三五五通ほど。木ストへ入れにゆくにモニヘで一回ですむ。最大時の約半分。寄贈的送付を今后も尚もうすこし減らさなければならぬかもしだれぬ。読んで下さる方は、切手貼付宛名記載の送付用封筒5×10枚をどうかお送り下さい。

日本の反体制運動・一九七八（中）

本稿は今月中下旬に刊行の『英文誌、龍』の原稿下書きで、本来ならライオムに付せる種類のものでないかもしない。ぼくに必要にさせがあつて原稿用紙だと、何度もよみ返し書き直さねばあさまらず、そこがる時間がかかる。ががりだとアツリケ本音、ほとんど書き直しがきかず、内容はともかく、早く仕上がる。こうわけて118号紙面を利用したわけだ。それ一枚まとめるつもりが、つしながらなつて本号に延長一という次第で、至極やかりきったことをくどくど、読んで下さる方には申しわけない。こんなことに興味のない方はおおさら…どうかおよみ捨て下さい。

（118号裏面下段左端よりつづく）

ブント系へ赤軍派は、国際ゲリラ組織として知られたへ日本赤軍の母胎として、一時は、国内に数百のメンバーがいると云われていたが、いまはきわめて少くなり、ほとんど表立つて活動がなくなつてしまふ三里塚でその存在を注目されたへ社青同解放軍（革命的労働者戦会）は、60年安保のあと、JSPが党活動の一翼として発足させたへ社会主義青年同盟（）を母胎とする。そのへ社青同へもブント系分裂の一部が流れ込むなどのことがあつて、69年にそのテジカルな部分による解放軍ができた。が72年は路線から逸脱を理由として「社青同」から除名された。それが現在の社青同解放軍である。

その他、モズ東主義を標榜するへ日本マルクス・レーニン主義者同盟、構造改革派とみられるへ共産主義労働者党など、へほかに書きもろいは多々あるが）今こ、ですべてをあげるのは困難である。（こふらものぼくは新左翼諸派については殆ど無知で、正誤についてはすこぶる心もとない。示教をどう）

VII ベトナム反戦以後

70年以降、新左翼諸派のうごきを要約すれば、

- (1) ベトナム戦争の終結によつて、主要な活動目標を失い、そのときどきの政治的事件、例えば「天皇訪米」、「ロッキード汚職」など散発的課題のなかで、みるみる活動が低下してきた。
- (2) それに相車をかけるものとして、運動の基盤でもあつた学生運動のいうじるしい沈滞、影響力の弱体化

あるいは喪失があつた。

- (3) たとえばへ革マルとへ中核派といつた、はげしい内ゲバ、戦争が決定的となり、双方の殺傷事件が新聞をにぎわせた。それは、新左翼の過激派キヤンヤーンと共に、市民離れを拡大した。
- (4) 11月数地下グループの「D」とそばへ連合赤軍、津田山連事件、へ東アジア反日武装戦線、企業爆破事件などの賜物化。それはセクト諸派へ種々の影響を及ぼすと共に、市民社会への大きな衝撃となつた。
- (5) 反戦市民運動の解消分散後、一時期沈黙していた住民運動、無党派運動は、個別の向島を対象として徐々にひろがりはじめ、セクト諸派もまたそれに目を向けざるをえない時代のうごきとなつた。とくに全国的にひろがつた「日韓問題」、「狹山裁判」にあらわれた部落差別向島、「三里塚闘争」は、また各セクトの課題となることによつて、それらの運動との干渉がある。あるいは「連帯と支援」という新しい展望が生れてきた。
- (6) このようひうどきのなかで、新左翼の存在が改めて脚光をあびることとなつたのは、三里塚闘争で登場してきたゲリラ闘争の主役としてである。

VIII 無党派運動の簇生

ベトナム反戦運動が最高潮に達した69年ごろ、反戦市民運動グループは、全国で千七かい数をかぞえたが、73年に反戦を名乗るものは十倍にも満たないほどであつた。しかしベトナム反戦の活動のなかで触発され醸成された、新しい運動の質ともいふべき個的、はやめ的、因縁的なへ異議申立てとしての住民運動、市民運動、無党派の運動は、さまざまに分野に課題をとらえて、目立つてはないうが次々にひろがりはじめた。それらは自立した3人から20人ほどの小グループがほとんどであつたが、75年頃にはすでに全国的連絡をもつ運動が、にとえれば水俣、三里塚、森永不買など十数にあまる運動が展開されるようになつていた。

そしていま、現任せこれら運動グループは、おそらく全国に二、三千以上、ほとんど出つくしたあらゆる分野にひろがつて動き出している。それらはかつての反戦市民運動のような食卓や山場がなく、さわやかに潜在的大きな力をもつたらしいが、いまや、次々に潜在的大きな力をもつたらしい。

無党派運動の分類。その質。

無党派の運動を大別分類してみると次の如くである。

まず大別して

- (A) へ生活環境の破壊、それに対する人保全と防衛
✓を対象とするもの。(これまで、ひろい意味での
へ反公害へ運動に極めて多いだろう。)
- (B) へ政治的へ社会的問題を自分の課題とし、運動とするものへこれを換言すると、さらに二つに区分
して、(B)-①へ反戦へ闘争する運動。と

- (B)-② たと義の意味でのへ反差別へを自分の課題とする運動。一となる。



- (A) はさらに五つに分類することができる。即ち
(A)-① いわゆるへ公害へ、たとえば水俣病。田口市
せん息。カドミウム・水銀、Pb、六価クローム、
メツキ、クロロキン、農薬等の汚染や中毒。騒音。
排気ガス、煙霧、震動。原発等の温排水、微量放射線。
などに関連する運動グループ。

- (A)-② へ医、薬害へ。たとえば、スモン病。森永ヒ
ソミルク補償。サリドマイド。その他予防注射。接種
後遺症などに関連するグループ。

- (A)-③ へ環境破壊へ②生活とその環境破壊に対する防
止へ。たとえば、発電所、空港、墓地などのための土
地收用。ダム。取水場。河川堤防。ゴミ焼却場。高速
道路。鉄道線などの建設、設置、それに関連する運
動グループ。

- (A)-④ へ衣食住生活へへ人間關係・生活技術・生活
原理の問題へまで及ぶものへ。たとえば、合成洗剤。
無農業農業。有機農法。本物牛乳、卵。玄米食。產地
販賣方式。生活協同組合。共同農場・化粧品・無添加
食品。電灯料・テレビ料金・公共料金の不平等・保留。
ヨガ・鍼灸・指圧・漢方薬。コンミニューン・禪・マリ
ハナ・ヒーリー・非暴力トレーニング。などに關連す
る運動グループ、または其団体。

- (A)-⑤ へ環境破壊へ自衛保全・動植物の保護へ。
たとえば、観光開発。スカイテイン・海岸・干溝・河川
などの理立。環境権・入浴権・日照権などに関連する運
動グループ。

- (A)-⑥ へ反公害へに括られるグループの運動は
すぐ判るようへ(A)-⑤の一部を除いて)一見して
体制内での、資本主は行政から圧しつけられた状況
に対する、反対、不服、異議であつて、金錢的補償その
他の條件等を問題とする、きわめて利害的個的な改善
要求または撤回要求以上でもういうにみえる運動である。
しかしながらそのような体制内での運動的運動が、
過去の、同じような例などにみられるものと全く質を異
にしたへ反権力的へそれゆえにしばしば無政党のままで
へ反国家的へ意味を、いま持ち出してきてるのは、
どうしたことからEとううか。

と云ふうさ

これらにあらわれてきた70年(1945年)にかけての運動の特徴を、思ひつくまことにあげると、

第一に、保守とか革新といつたワクではもはや律しきれない。つまり体制、反体制という区分をはみだしていいる。

第二に、そこで提出されていることは、きらめで日常的、個人的、それゆえ社会的なものとしては局部的的、部分的である。

第三に、その局部、局地的問題を自分の課題とするのは、それが自分にとっての日常生活を全般に左右するものであること。つまり日常的局部的なもの(「余の」本質的意味をもつからである)。

第四に、そこに登場するEは、天下國家を問題とするのではなく、政治や革命と全くかゝわりをもたない庶民層である。

第五に、Eからグループ内には中央集権的リーダーではない庶民層である。

Eは、この種の運動は從来は、あきらかに自分の利害や権利を守り得るために用いられており、結果がつけばまるものであつてEが、そのような権利獲得の手段のかたちをとりながら、現在の運動は、権利を得た者との交渉によつて獲得する、その獲得することの否定、権利と利害というものの在り原因自身が存在することに対する永遠的争いとなつてきているのである。

Eに、それえそれはきらめで人直感的である。つまり、①向思ひ自分に引きよせるとして、もつともつとも、この④～⑦のようなことが、運動体によつて意識的自覚的にとらえられている。こうことで、も身近かに自分でうごかすものであることにおいて。

②革命とか社会変革とか、つまり未來的時間や全世界間にその結果を予測するのではなく、いま自分が何の中のものとする問題であることにおいて。

もつとも、この④～⑦のようなことが、運動体によつて意識的自覚的にとらえられている。こうことはない。ほじの利益と権利要求の運動の実現が、資本と行政に対する陳情、抗議、強行押止デモ、あるいは裁判闘争といった過程をへて、ベトナム反戦以後の思想とともに、「現代文明と科学への批判」、「いわゆる進歩と新衆社会への運動」(それは個人の生き方の問題に通ずる)などと出会うことによつてあつわってきた、新しい現象であり、しかも世界的・史的な時代の本質を示すものだ、こうことであります。そしてまさにそれはこれから八〇年代闘争の一部をとお續していくものにはならない。

290号…と云ふとおこしてもうすぐ29号だが、と思つた。べつに同じ数字がむづくたつてどうつてどうつまないが29号までは、果してどうだううが。で29号で何か特別企画?をやつて・と云ふと思いついた・特別付録?として原爆小説集「日本をつくりたう…